

# キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

『世界で活躍するチェアスキーヤー』



チェアスキーヤー  
むらおかももこ  
村岡桃佳さん  
(深谷市親善大使)

## 目標は『出場』から『メダル』へ

3月に長野県白馬村で開催された障害者スキーの世界大会『2017 IPC アルペンスキーワールドカップ白馬』で、並み居る強豪を抑え優勝をしたのが、深谷市出身の村岡桃佳さんです。

村岡さんは4歳の時に横断性脊髄炎を患い、車いすでの生活を余儀なくされましたが、川本北小学校2年生の時に車いすの陸上競技を始め、中学3年生の時には、アルペンスキーに本格的に取り組み始めました。

これらのスポーツとの出会いが村岡さんの才能を開花させ、さらに、その努力もあって陸上・スキーともに上位の成績を収めています。特に、スキーでは、高校2年生の時にソチパラリンピック

に出場し、堂々とした滑りを見せました。

「ソチパラリンピックは『出場』が目標でしたが、平昌パラリンピックでは『メダル獲得』が目標です。今は、ひたすらそれを目標にトレーニングに励んでいます。」と村岡さんは熱く語ります。実際にソチパラリンピック後も村岡さんはどんどん力を伸ばし、メダルに手が届くところまでやっています。

今、大学生の村岡さんは、競技と学業を両立しながら、パラリンピック出場、そしてメダル獲得を目指しています。

世界で活躍するチェアスキーヤー村岡選手の活躍にこれからも、目が離せません。



▲『2017IPCアルペンスキーワールドカップ白馬』で滑走を終えた村岡選手

ふっかちゃんの日常から  
深谷が見えてくる

## ふっか 散歩

### ⑦ 高機能消防指令センター Part2

これは『指揮車』っていうんだ。火事や災害が起きた時に、実際にこの車が現場に行くと、様子を確認しながら消防の職員さんに指示を出しているんだって。今年から車の上にカメラが付いたのに注目だよお〜♪



◀よしよ!車を停めてもらって、カメラを動かしてもらったよ!ふっかちゃんの様子が映っているかな?カメラは前後左右いろいろ動くん。映った画像は持ち運びできるタブレット端末でも見ることができるとだつて!



▲これは消防指令センターの画面だよ。わあ!車のカメラに映ったふっかちゃんだ!この車で現場に行くと、その場の様子が一目でわかるから、消防の職員さんとか消防団の皆さんに次の行動を指示するのに役立つんだって!

### ふっかちゃんのつぶやき

5月20日(土)に道の駅はなぞのに『ふっかちゃんミュージアム』がオープンするよ!みんな遊びに来てねよ! Y(o0w0o)Y



# 数字でみつけた!

# 深谷の イイトコ♡



## 第2回 深谷のスイートコーン

深谷市のスイートコーン栽培は昭和40年代に始まり、昭和50年代には作付面積の拡大が行われました。また、種類は食感が良く、糖度はフルーツ並みの高さといわれる『味来』や『ゴールドラッシュ』といった品種をいち早く導入し、岡部地区を中心に栽培しています。

現在では、生産量・出荷量ともに日本有数の産地です。毎年、スイートコーンの収穫の最盛期となる6月から7月には、お中元などの贈答用として好まれています。



▲味来は、粒の皮がととても軟らかく、生でも食べられます。加熱してもサラダにしてもおいしく食べることができます

## 心の広場

川本南小学校6年(現川本中1年)  
富田 陽向子 さん



### 障害者と共に

私は、人権という言葉の意味はあまり知らなかったけれど、学校などで調べてみると、世界にはいろいろな人権問題があるのだなと思いました。その中でも私は、障害者の人権に興味をもちました。

障害のある人は、体が不自由なため、今ではいろいろな設備が整っています。

例えば、よく見かけるのはエレベーターの押しボタンです。車いすの人の高さに合わせたボタンがあり、車いすの人は座ったままそのボタンを押すことができます。

そのほかにも、スーパーなどの入り口近くに「車いすマーク」がついているちゅう車スペースがあります。そこは、入り口に近いだけでなく、車いすでもゆったり降りできるスペースがあります。また、車いすで入れる大きさのトイレやだれもが楽に通れる幅の広いろう下など、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れた設備がたくさん増えていま

す。それによって、障害のある人でも外出しやすくなり、いろいろな所で障害のある人を見かけるようになりました。

私がおどろいたのは、何年か前に上高地へハイキングに行った時、車いすに乗った高れい者や障害者の人たちを何人も見かけたことです。こんな山の中まで車いすで来られるのだなあと感心しました。

しかし、いくら設備は整っても残念な行いにかかりすることがあります。それは、バスや電車の優先席に堂々と座り、目の前に高れい者や小さい子を抱えている大人がいても席を立たない若者や、平気で車いすマークのちゅう車場に停めてしまう人など自分勝手な人がいることです。

障害のある人の人権を守るためにも、また共に生きていくためにも必要なことは、社会のルールを守り、思いやりの心で障害者の人に接していくことが大切だと思います。

私は、今年、環境福祉委員になりました。緑の羽根ぼ金や赤い羽根ぼ金を通してだれかの役に立つことができると知りました。アルミ缶回収など、思ったより大変な仕事がありますが、学校や社会のためになると思うとやりがいがあります。

私は、障害のある人や弱い立場の人の役に立てる人になりたいです。